

農産物直売所の開設に向けて

■ 「(仮称) 道の駅あびら生産者協議会 全体会議」が行われました

6月13日(火)に、「(仮称) 道の駅あびら生産者協議会 全体会議」が行われました。

同協議会は、道の駅直売所への出荷を予定する方々により今年1月に発足。出荷者募集説明会や栽培講習会での声かけ等により、会員数は現時点で27名にまで広がりました。

当日は、協議会の高林副会長より町や関係団体等との協議の進捗状況について報告があったほか、町担当者より、イメージ図を用いた施設紹介や協議会の規約に関する内容説明がありました。一方、参加者からは屋外イベントの実施の可否や、販売品に関する質問等が寄せられるなど、会員間の意見交換や情報共有が図られる会議となりました。

協議会では、先進地視察等の活動を行いながら、今後の準備を進めていく予定です。



6月13日生産者協議会全体会議の様子

道の駅の魅力づくり

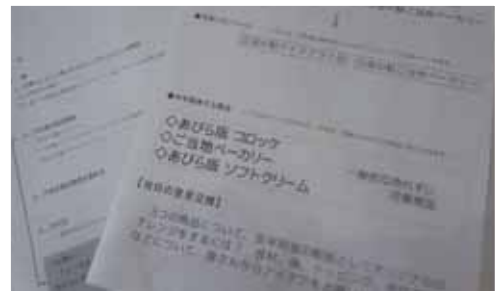
■ 商品開発に関する意見交換

6月16日(金)に、「回遊・交流戦略検討会」兼「あびら観光協会特産品開発専門委員会」が開催され、道の駅で販売するテイクアウト品の商品開発に向けて意見交換が行われました。

道の駅の魅力を高めるには、目玉となる食の開発が重要です。今年の3月には、開発の第1弾として冬場の特産品である長いもを用いた商品レシピが完成しましたが、今回の会議ではこれに続く開発品としてフライ類やベーカリー、ソフトクリームが題材として挙げられ、ご当地性を高めるためのアレンジや食材について協議が進められました。

会議では「リピーター確保のためには商品の味が重要」、「道の駅利用者は手間なく短時間で購入できる商品へのニーズが高い」など、利用者目線からの意見が確認され、いかに地場産食材をトッピングとして活用するかが重要との認識で一致しました。

両会では、今後これらの意見を基に試作品づくりに着手し、新たなテイクアウト品の開発を進めていく予定です。



気になる道の駅の目玉商品は・・・

道の駅を期待する声

安平町内で活動する地域おこし協力隊の方々に道の駅に期待することを聞いてみました！

山田 由美子さん

道の駅は、町の情報が集約される施設で、その情報を求めて来る人も多いはず。

道の駅で完結するのではなく、町内各所で様々な体験・観光をして貰うために欠かせない情報発信基地として期待したいです！

河合 香織さん

町を訪れた人が、「ちょっと休憩しよう」というとき、道の駅は最適。お手洗いや食事の不安も無くなるので、子どもを連れた家族などにとっては凄く助かるはず！

町の魅力を知って貰えるキッカケに凄くなりそう！

武田 増満さん

学生時代に自転車旅をしていたのですが、ルート決めに大きく作用したのが、道の駅の有無。休憩もできるしお腹も満たすことができる。

安平町にも道の駅が誕生したら、今までになかった観光の仕方が楽しめるかも！